

なぜ、人は集めるのか



初期京都博覧会・西本願寺菟覧会・仏教児童博物館・平瀬貝類博物館

博覧

はくらん

特別展 — 近代京都の集め見せる力 —



2022年9月17日(土) — 11月23日(水・祝)

開館時間：午前10時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで ※10月7日、10月21日は午後8時(入館は午後7時30分まで)

休館日：月曜日、9月20日、10月11日(ただし、9月19日、10月10日は開館)

主催：龍谷大学 龍谷ミュージアム、京都新聞

特別協力：浄土真宗本願寺派、本山 本願寺

後援：京都府、京都市、南あわじ市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、南あわじ市教育委員会、
(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都

龍谷大学

龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM

京都駅から徒歩約12分・西本願寺前

西本願寺菟覧会会場写真 明治43年「追遠帖」龍谷大学図書館、集合写真(仏教児童博物館玄関前)昭和13年頃 志水雅明、銀製孔雀置物 明治5年 西本願寺

●記念講演会

- ① 9月25日(日) 午後1時30分～午後3時 龍谷大学大宮学舎東翼101教室
「貝を集める面白さ 平瀬貝類博物館に思う」 講師：多田昭氏(元香川県立津田高等学校教諭)
 - ② 10月2日(日) 午後1時30分～午後3時 龍谷大学大宮学舎東翼101教室
「仏教児童博物館—モノを介したコミュニケーション」 講師：佐藤優香氏(東京大学大学院情報学環客員研究員)
 - ③ 10月9日(日) 午後1時30分～午後3時 龍谷大学大宮学舎東翼101教室
「京都における博覧会と西本願寺」 講師：並木誠士氏(京都工芸繊維大学特定教授・美術工芸資料館館長)
 - ④ 11月13日(日) 午後1時30分～午後3時 龍谷大学大宮学舎東翼301教室
「特別展回想 列品解説と共に」 講師：和田秀寿(龍谷ミュージアム学芸員)
- 事前申し込み必要 / 聴講無料 / 先着150名 / 観覧券必要(観覧後の半券可)

●ワークショップ

- ① 10月15日(土) ①午前11時～午前12時30分、②午後3時～午後4時30分 龍谷ミュージアム101講義室
「貝を使ったリース作り」 講師：大谷洋子氏(西宮自然保護協会理事)
参加費1名500円 / 当日の観覧券必要(当日の観覧後の半券可)
 - ② 10月29日(土) ①午前11時～午前12時30分、②午後2時～午後3時30分 龍谷ミュージアム101講義室
「天然鉱石から岩絵具を作ろう」 講師：米田寿恵氏(龍谷大学先端理工学部研究補助員[森正和研究室])
参加費1名800円 / 当日の観覧券必要(当日の観覧後の半券可) ※企画 森正和(龍谷大学先端理工学部)
- 事前申し込み必要 / 各回先着10名 ※小学校低学年の方が参加する場合は、保護者が付き添い、ご参加ください。(付き添いのみの参加は無料)

●文化財修復について知ろう!・日本画の原料や作り方を知ろう!

西本願寺書院(国宝)「虎之間」にある「杉戸絵」の復元展示を通して、文化財修復についてわかりやすく紹介します。(パネル展示)
また、鉱石から作った絵具でも、鉱石の砕き方(粒子の大きさ)で発色が違います。日本画の絵具の元となる鉱石に触ったり、ルーペで観察してみましょう。
10月22日(土)、23日(日) 29日(土)、30日(日) 午前10時～午後5時 龍谷ミュージアム101講義室
事前申し込み不要 / 参加無料 / 入退場自由 ※協力 有限会社 川面美術研究所 ※企画 森正和(龍谷大学先端理工学部)

●京都博覧会・西本願寺菟覧会の舞台 西本願寺書院・飛雲閣拝観ツアー

京都博覧会・西本願寺菟覧会の舞台となった本願寺書院を、龍谷ミュージアムの学芸員が解説を交えながらご案内します。
9月23日(金・祝)、11月20日(日) ①午前9時30分～午前11時、②午後1時30分～午後3時 集合場所：龍谷ミュージアム101講義室
参加費1名500円 事前申し込み必要 / 各回先着20名 / 当日の観覧券必要(当日の観覧後の半券可)

●学芸員トーク

9月18日(日)、10月8日(土)、11月3日(木・祝) 午後1時30分～午後2時 龍谷ミュージアム101講義室
事前申し込み不要 / 聴講無料 / 当日先着30名 / 当日の観覧券必要(当日の観覧後の半券可)

●ナイトミュージアム・ギャラリートーク

10月7日(金)、10月21日(金) 午後8時まで開催時間を延長します。また、午後6時30分より展示資料の見どころを解説するギャラリートーク(事前申し込み必要 / 聴講無料 / 先着20名 / 当日の観覧券必要(当日の観覧後の半券可))を展示室で開催します(45分程度)。

※当時間は会場が解説で騒がしくなります。ご了承ください。

※ワークショップ「天然鉱石から岩絵具を作ろう」・文化財修復について知ろう!・日本画の原料や作り方を知ろう!・西本願寺書院・飛雲閣拝観ツアーは下京区まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」令和4年度採択事業

【記念講演会・ワークショップ・拝観ツアー・ギャラリートークのお申し込み方法】

龍谷ミュージアム HP 内のお申し込みフォーム、ミュージアム受付にてお申し込みください。お申し込みの際は、

- ① イベント名、② 日時、③ お名前(ふりがな)、④ 参加人数(ワークショップは参加人数と付添人数)、⑤ 電話番号をお伝えください。

入館料

	一般	高大生	小中生
当日	1,300円	900円	500円
前売・団体(20名以上)	1,100円	700円	400円

※【リピーター割引】 本展のチケット半券のご提示で2回目のご入館時、入館料金300円引き(他の割引との併用不可。ご本人・本展のみ)。

※小学生未満、障がい者手帳などの交付を受けている方、およびその介護者1名は無料。

※前売券は2022年8月10日(水)～9月16日(金)まで、龍谷ミュージアムHP、ローソンチケット(Lコード:53597)、セブンチケットなどで販売。

※入館はご予約優先制です。ご予約は龍谷ミュージアムHPから。

龍谷大学 龍谷ミュージアム

〒600-8399

京都市下京区堀川通正面下(西本願寺前)

TEL075-351-2500

https://museum.ryukoku.ac.jp/



龍谷ミュージアム
ホームページ



アクセス

- JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
- 京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前」下車徒歩約2分
当館には専用駐車場はございません。
ご来館の際は、バスなどの公共交通機関をご利用ください。

【お願い】

ご入館時は必ずマスクをご着用ください。(フェイスシールド等不可)。
37.5度以上の発熱がある場合、ご入館はお断りさせていただきます。

展示資料の保護のため、会期中展示替えを行います。また、状況によりやむを得ず予定を変更することがあります。最新の情報は龍谷ミュージアムHPをご確認ください。

初期京都博覧会



第1回京都博覧会(西本願寺会場)会場写真 明治5年
『The Far East』Vol.Ⅲ No.8 1872.9.16 同志社大学図書館



第1回京都博覧会関係資料 明治5年 京都女子大学図書館・龍谷大学図書館

明治四年、「博覧会」と名前の付く日本最初の博覧会が京都・西本願寺で開催されました(京都博覧会)。その後、この博覧会は継続的に開催されます。本展では明治四年と五年の博覧会を中心に、その様子をたどります。



本願寺会場通券(入場券) 明治5年
京都府立京都学・歴史館



楓林鹿図 杉戸絵 江戸時代 西本願寺

人はなぜ集めるのか？ 好奇心・満足感 そして探究心



仏教児童博物館を開設した中井玄道
明治36年 正福寺(大阪)

昭和三年、京都に世界的にも類例をみない、仏教を児童に伝える博物館が開設されます。様々な知恵を絞り運営し、五十年以上の長きにわたり継続した「仏教児童博物館」について紹介します。



インドネシアの児童から贈られた絵画
昭和初期 龍谷大学図書館

仏教児童博物館



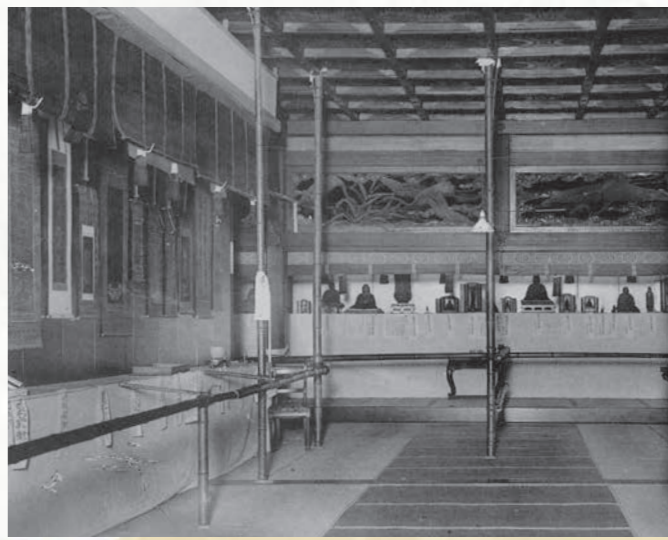
集合写真(仏教児童博物館玄関前) 昭和13年頃 志水雅明



ワシントン大統領 龍谷大学図書館 インディアン酋長 マサソイ 日野芳文
リンカーン大統領 龍谷大学図書館 ジョン・オールデン 龍谷大学図書館
インディアン婦人 日野芳文

日米親善を伝える返礼人形 昭和初期 日野芳文・龍谷大学図書館

西本願寺蒐覧会



西本願寺蒐覧会の展示風景 明治43年『追遠帖』 龍谷大学図書館

西本願寺歴代宗主の遺徳を偲び、江戸時代から行われてきた「法宝物拝観」を発展させた、「蒐覧会」が明治八年から西本願寺で開催されます。その様子を古記録や古写真、そして展示法宝物を中心に紹介します。



銀製孔雀置物 明治5年 西本願寺

幼い頃、夢中になって小石や貝殻、切手やコインを集め、そのコレクションを友人と見せ合い、楽しんだ記憶はありませんか？ その思いは好奇心や満足感から、時には探究心へと膨らんでいくこともあります。

明治時代から昭和戦前期にかけて、京都で開催された博覧会や展覧会、開設された博物館では、様々な手法を用いて展示資料を集めていました。さらに見せ方(展示手法)や意匠(展示造作)にも工夫を凝らしていました。

本展では集め見せる試みとして、日本初の「博覧会」と称された「京都博覧会」、明治初期から継続された浄土真宗の法灯を伝える、大規模な展覧会「西本願寺蒐覧会」、仏教を児童に伝える博物館「仏教児童博物館」、京都で先駆的な自然史系博物館「平瀬貝類博物館」を取り上げ、当時の主催者側の展示に込めた強い思いを探りたく思います。

平瀬貝類博物館



平瀬貝類博物館全景 大正4年『平瀬貝類博物館写真帖』 多田昭



平瀬貝類博物館を開設した平瀬與一郎
明治時代 西宮市貝類館

兵庫県・淡路島福良出身の平瀬與一郎が、大正二年、京都で先駆的な貝類専門の博物館を開設します。平瀬は関係者を国内外に派遣し、多くの貝類標本を集め展示を充実させていきました。



世界一週貝類会ポスター
大正2年 多田昭



販売用に作られた貝類標本 明治~大正時代 西宮市貝類館



『貝類絵はがき』
大正2年 多田昭



右隻



左隻

津島祭礼図屏風
江戸時代中期~後期 西本願寺
【展示期間】
右隻(朝祭): 9月17日~10月16日
左隻(宵祭): 10月18日~11月23日